

修学旅行生が交流にやってきました！①



2-1



2-2

こんにちは、瀬谷高校です。
私たちは来年の冬、占冠村に修学旅行に行きます。
なので、占冠村の皆さんに瀬谷高校がどんな学校か紹介をしたいと思います。
瀬谷高校は昭和49年に開校した歴史ある学校です。
学校周辺には「市民の森」があり、自然が豊かで静かな環境の中で集中して授業に取り組んでいます。
地域の清掃活動や、養護学校に行って生徒の皆さんと作業をしたり、幼稚園で子供たちと遊んだりというボランティアも活発に行われています。
学校の雰囲気はいつも明るく部活動も盛んに活動しています。
また、瀬谷高校は行事も盛んで、今の時期は文化祭に向けて準備を頑張っています。
授業になると静かになり真面目に授業を受けています。
瀬谷高校には明るく元気な生徒がたくさんいて、皆、北海道に修学旅行に行き、占冠村の皆さんと交流ができることをとても楽しみにしています。
修学旅行で北海道の色々なことを学び、経験をしたいと思います。
占冠村の皆さん、楽しみに待っていてください！！

瀬谷高校40期 修学旅行委員長 柴崎璃菜

この度、神奈川県立瀬谷高校が、平成27年1月8日から11日にかけて、修学旅行で本村を訪れます。

その際に、村内の除雪体験などを通じて村民の皆さんとの交流を希望しており、受け入れすることとなりました。

生徒の修学旅行への思いをよせた手紙と写真が届きましたのでお知らせします。

総勢8クラス310名の高校生が訪れる予定です。詳細については、今後2号に渡りお知らせします。

お問合せ先 企画商工課商工観光担当
電話 0167-56-2124



2-8



2-7



2-6



2-3



2-4



2-5

『地域おこし協力隊』が行く③ 地域活動の取り組みを通じて

地域おこし協力隊
中島 辰男

占冠村役場産業建設課林業振興室に所属しています。地域おこし協力隊の中島辰男（なかにまたつお）です。

平成25年7月1日から、「地域おこし協力隊」として、占冠村で活動をしています。占冠村に来て1年2ヶ月が経ちますが、まだまだ知らない事だらけで、日々、新しい発見をし、驚き、喜び、そして笑いながら過ごしています。私なりの「占冠と言ったらこれ！」と宣言出来るモノを探し、内外へ発信していきたいとの思いを常に持って活動しています。

最近では、こちらの生活にも慣れ、少しずつですが、住民の皆様顔を覚えていただけていることを実感しながら、日々の活動に取り組めることをうれしく思うこの頃です。

今回は、これまでの私自身の村での生活を振り返りながら、地域おこし協力隊の活動を一部、紹介していきたいと思えます。

こちらに着任してからは、主にエゾシカやヒグマ、アライグマなどの野生鳥獣対策の業務を担ってまいりました。

平成25年10月には、酪農学園大学と占冠村の「地域総合交流に関する協定」に基づく酪農大生の野生動物保全技術実習が2泊3日のプログラムで行われました。この実習では、私の前職である測量技術者の経験を活かし、測量実習を担当しました。学生に対して、林業で使用する測量機械を用いての土地の面積の測り方や、レベル測量器を用いての高低差の計測などの基礎的な測量技術を指導しました。

平成25年12月からは、占冠村猟区設定に向けて、関係機関との調整や事務、また、村民の皆様との猟区設定の合意形成などのお手伝いをさせていただきました。

日々の活動では、毎月、エゾシカのセンサス調査や野生鳥獣対策に係る関係者との連絡・調整を担っています。

酪農学園大学生 野生動物保全技術実習



野外実習風景



座学実習風景

ライトセンサス風景

月6回程度、夜間にライトを照らして、シカの出没頭数や性別などを調べる調査をしています。



平成26年3月には狩猟免許を取得し、猟友会占冠部会に部会員として加入させていただきました。これからは、「もつと地域に貢献できる鳥獣害対策や有害駆除活動はどうあるべきか」を自分なりに模索していきたいと考えています。

また、ご承知のとおり、本年より占冠村猟区が本格的に始動いたしますが、その中で、ハンティングのガイドや村のエゾシカ対策など野生鳥獣対策全般の更なる拡充を目指して活動してまいります。

最後になりますが、今後とも、皆様のご指導とご支援を賜りながら、地域おこし協力隊として「何ができるのか」を考え、充実した活動ができるよう邁進してまいりたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。